

## バスマップサミット in 京都・姫路 開催

20150207~08



●撮影/松原 光也

関連記事 4P~7P



### ☆☆活動報告☆☆

- 1月21日 1月例会・理事会
- 29日 すまいるバス検討会①
- 30日 自転車整備懇談会(福井市)
- 31日 北陸新幹線金沢視察会
- 2月7~8日 全国バスマップサミット
- 2月11日~3月5日  
NPO パネル展 (AOSSA, 市役所、ふく+)
- 17日 すまいるバス検討会②
- 18日 2月例会・理事会

### ☆☆今後の予定☆☆

- 2月11日(水)~3月5日(木) NPOパネル展
- 22日(日) MM実践①河合小学校
- 3月 3日(火) MM実践②酒生小学校
- 18日(水) すまいるバス検討会③
- 18日(水) 3月例会・理事会

## ゆうじんの部屋 書籍紹介

町内会は義務ですか ~コミュニティと自由の実践~  
紙屋高雪 小学館新書740円+税

強制力がないところで組織を作り維持することの難しさが描かれた本である。ROBAも、車に頼らなくても快適に住めるまちづくりという共通の目標があるのでボランティアで業務もできるが、水路の維持など農業共同体のようにどうしても必要なことは行政がやってくれ、活動が趣味の世界と行政の下請けだけになっている自治会は、なるべくスリムな形にして自主的な組織にすることを筆者は勧める。

コミュニティの本質を考えさせられる現実を踏まえた非常におもしろくかつ有益な本である。(私自身が大学自治会や公務員宿舎の自治会、保育園の保護者会などで苦労したのでそう思うだけかもしれないが。)

東海市会員 美濃部 雄人 Minobe Yujin

平成 27 年 2 月 1 日

ROBA 会員各位

内田佳次

## 福井市自転車利用環境整備計画改訂に係る有識者懇談会報告

今年度自転車利用に係る福井市自転車利用環境整備計画の改定を行うにあたり、有識者の意見を聴取しようとするものです。なお、前回改定は平成 19 年でした。今後 2 月にパブコメを求めその後計画が完成するとのこと。

■日時：平成 27 年 1 月 30 日

■場所：市役所 8F 会議室

■議題：「福井市自転車利用環境整備計画」の改訂について

■参加者：別添のとおり

■参加者からの意見

- ・自転車の使い方では、日常の視点が足りない。活性化させるには日常からの利用促進の視点が必要
- ・そのためにも自転車の使い方の調査をして欲しい。現状の使い方を把握したうえで対策を考えなければならない。誰がどんな目的で使用しているのか。(永井)
- ・自転車の目的別利用状況は過去の PT 調査で一定の確認ができるのではないかと。(加藤)
- ・駅前商店街の来街者は減っている。自転車での来街者を増やすためにも利用する場所や利用経路も調査すべき。(加藤)
- ・道路の走行空間の整備は時間軸を明確にして欲しい。どの区間を、どのような改善を、いつまでに実施するかである。自転車は車道走行が基本ではあるが、実態は歩道を走行している。その際、自転車走行帯が守られず歩道を走行している。できれば自転車走行ゾーンを車道に設置すべきである。先進事例となるよう早急にやっていただきたい。(内田)
- ・中・高校生のマナーがダメである。もっと学校教育の中でしっかり行わないといけない。特に傘さし運転、左側通行の順守。(内田)
- ・車道に自転車道を設置するのはどうかと思う。福井では自転車走行は少ない。歩行者も少ない状況で自転車専用道まではどうかと思う。(永井)
- ・高架下を自転車道として活かさないか。
- ・福井は平坦な道路環境にあるのもっと、自転車の利用を進められると思う。
- ・街なかに分散型の駐輪場を設ける必要がある。自転車利用者は目的地の近くでないと駐輪場は利用しない。また、施設には駐輪場を附置するよう指導していただきたい。施設に来た利用者が歩道に駐輪すると、せっかく拡幅して整備した歩道が有効に利用できない。(内田)
- ・違法に歩道に停めた自転車を市役所が整理している実態もある。これでは違法を承認していることになり、いつまでも改善されない。明確に違法を示し止めないように指導するか、その場所を駐輪場として認めるか明確にしていきたい。(勝木書店横)(内田)

平成 27 年 1 月 30 日

ROBA 会員各位

内田佳次

## 第 1 回コミュニティバス「すまいる」検討会報告

この度、「すまいる」の検討会が開催されましたので報告いたします。

路線バスをはじめすまいるバスが西口交通広場に乗り入れるにあたり、関係団体から意見を取り入れより良いものにしようというのが検討会の目的です。主管はまちづくり福井㈱。

日時：平成 27 年 1 月 29 日 13：30～15：00

場所：響のホール 6F 会議室

議題①すまいるバスの概要、運行状況について

②西口交通広場への乗り入れ、

及び乗り入れに伴う駅前での基幹バス停の設置について

③すまいるバスへの要望について

④ルートへの提案

別紙資料を参照して下さい。委員の名簿、資料を添付いたしました。なお、広場のバスシェルターは 4 路線すべてが停車する。また、中央大通りは最初のバス停と考えている。

(委員から出た要望)

- ・観光に利用できるように配慮すべき
- ・外国人に対応できるように表示も検討してはどうか
- ・路線をもう少し延長してはどうか
- ・駅前商店街でも中心市街地活性化という観点ですまいるバスの活性化は期待が大きい

(内田が提案した要望)

- ・東ルートは 30 分ヘッドとし、便数を増やすべき。そのために大名町の経由を改め、直ぐに AOSSA へ向かうルートとすべきである。
- ・スピードアップとコンパクト化のために至近なバス停については廃止してもよい。例えば、東ルートの手寄 1 丁目と東口、あるいは南ルートのルートが交差する付近のバス停
- ・観光の案内が少ない。観光に利用してもらう視点が欠如している。街歩きマップの案内を車内放送で行っているのにマップが車内にない。
- ・路線バスと共用しているバス停のすまいるバスの案内は弱い。また、バス停のネーミングは統一すべき。
- ・運転手の笑顔がほしい。ICOUSA (いこうさ) で 1 日フリーキップの購入ができない。

なお、あと 2 回の開催日 (2 月 17 日、3 月 18 日) を決定し閉会とした。

次回は、今回の論議を受けて新ルート案を提案するとのこと。

## 全国バスマップサミット in 関西 に参加して

(内田佳次)

2月7日～8日全国バスマップサミット in 関西が京都と姫路を会場に開催されました。私は7日(土)京都会場のみの参加です。ROBAからは他林博さん、鳥居さんが参加。松原さんは現地スタッフとして企画運営として参加いたしました。なお、午前10:30からは京都市交通局の担当者から京都駅前のバスのりば情報案内の改善事例の説明会が開催され、利用者に分かりやすい交通情報案内に改訂されている様子がありました。



バスの待合にある表示  
利用者にわかりやすい

午後からは基調講演が鈴木文彦氏、講演①として京都市歩くまち京都推進室担当者から、京都市が進める“歩くまち京都”という京都市の事業の具体的な説明がありました。クルマでの移動ではなく、公共交通+歩行・自転車といった移動を進めるための数々の企画の紹介がありました。講演②京都市交通局から京都市のバスのシステムの説明がありました。講演③では宇治市の交通政策の説明がありました。

その後は3つの分科会が準備され、私は「バスマップ作製に関わる新しい技術の開発と実践例」に参加しました。とにかく新しいカタカナ言葉が飛び交い、世の中の進歩についていけない私にとっては難しい技術でありました。この分科会では林さんがのりのりマップの特徴の説明やバスマップを活用したちよい旅の報告をいたしました。その後総括の時間などがあり会議終了は18:20、懇親会終了は20:45と充実の一日でした。



会場のキャンパスプラザ京都 4F ホール

思うに、最近のバスマップサミットの中身がマップ作製のテクニックや新技術の応用などに傾いているところがあるが、ROBAとしてはマップを活かして“マップを利用したまちづくり推進策”についての議論にその多くを割きたいところです。

私の学生時代(S46年～S50年)は市電と市バスが元気に走っていました。市電は無くなりましたが市電のルートが市バスが代替し、ルートを示す番号も当時の市電の番号を踏襲しているように思います。市バスのデザインもその時のままなので、ついその当時にタイムスリップしてしまいます。

展示コーナーで  
のりのりマップ  
について説明





## 全国バスマップサミット京都会場参加報告

鳥居 健

今回申し込むのが遅かったので、午前中のプレ企画と夜の懇親会は残念ながら満席で締め切られており、京都会場の講演会と分科会3（講演者との質疑応答）に参加しました。

鈴木文彦さんの講演では、全国各地の取り組み事例や課題について興味深く説明されており、改めて路線バス研究の第一人者だと感心した次第です。

分科会3では、休憩時間に記入した質問用紙（1人2件まで1件90文字以内の制限あり）を回収されて、それを司会者が読み上げる形で進められていました。本音を言えば会場参加者から自由に発言させて欲しかったのですが、時間の都合もあり難しかったのでしょうか。ちなみに、私が質問したのは下記の2点です。

1. 市バス均一区間拡大において京都バスとの調整、深夜バス導入においてタクシーとの調整で特に苦勞された点は？
2. 京都フリーパスが閑散期しか販売できない理由。また将来すべての電車バスがICカード対応になれば、1日の利用実績に応じた上限課金制が実現可能か？

1については、利害関係者との調整はメリット、デメリットを含めて粘り強く話し合っ取り組む必要があるとの意見が出され、2については、京都フリーパスは14の事業者が参加していて各事業者への配分が少なくなるため、稼ぎ時のシーズンには売ることが出来ない、関東に比べて関西ではICカードの利用率が低いので、利用率向上に向けた事業者間の連携を進めることが必要との意見が出されました。

ところで京都駅前バスターミナルの30年前の姿を知っている者としては、今回改めてその変貌ぶりや利便性向上に感動しました。かつては京都バスと京都交通（現在の京阪京都交通）が中央郵便局の前から発着していて乗り場も案内所も別々でした。今は嵐山大覚寺方面に行く市バスと京都バス、桂方面に行く市バスと京阪京都交通が、それぞれ隣接する乗り場から発車するようになっていて、乗り場に行けばどちらか早く来た事業者のバスに乗れるよう配慮されています。



バスマップパネル展示会場



分科会3の様子

## 第12回全国バスマップサミット in 関西に参加して 林 博

のりりマップの発行と同じ年に発足した、全国バスマップサミットも今年で12回目を迎え、関西地区として「バスと電車をスマートに使いたいわたし」というテーマで、京都と姫路での共同開催となり、内田、鳥居（主催者として松原）が参加しました。

2月7日(土)「プレ企画」 京都駅前烏丸口（北口）のバスのりば：

京都駅前烏丸口のバス情報案内の改善の事例を、京都市交通局の方に案内していただき見学してきました。観光客などであふれるバス乗り場ですので、わかりやすい乗り場案内は必須なのでしょうが、外国人向け、お年寄り向けなど、多くの課題を見事に解決して、バリアフリーとなっていました。便数の多い地区ならではのリアルタイムの時刻案内板、病院形式の路線誘導ラインのほか、京都ならではの通りごとの路線の色分けをした（福井などの方面別の色分けとは違った）案内が印象的でした。

「京都会場」 キャンパスプラザ京都：京都の主要な大学の京都駅前のサテライトキャンパスです。

- ・基調講演：公共交通における情報提供の重要性 市民・事業者・行政の協働に向けた取り組み
- ・講演1：「歩くまち・京都」の取組 ～交通事業者連携策を中心として～
- ・講演2：京都市バスでの最近の取組 ～更なる利便性向上に向けて～
- ・講演3：宇治市における住民主体の公共交通確保の取り組み
- ・別室のポスターセッション：A0のコンパネに、A4, A3, ミニマップを、その場で貼り付けた。立体貼付は高く評価され、他の団体でも実施するところが現れた。これがマップサミットらしいところ。休憩時間など路利用して、たくさんの人との交流ができました。ROBAチラシが好評でした。

バス路線 案内看板 (写真ほか)	看板 A3		バス案内 所の様子 (写真ほか)
	ミニマップ 使い方 ・学校の教材など ・折りミニ 立体貼付 (折ってみよう)	のりマップ 使い方 ・マップ立 体貼付 ・地域時刻 表貼付	
ミニマップ 使い方 ・タウンページ ・ちょい旅 マップ			・レジ横の 様子 (写真ほか) ・地域時刻 表
福井市版(表) A3	福井県版(表) A3		
福井市版(裏) A3	福井県版(裏) A3		



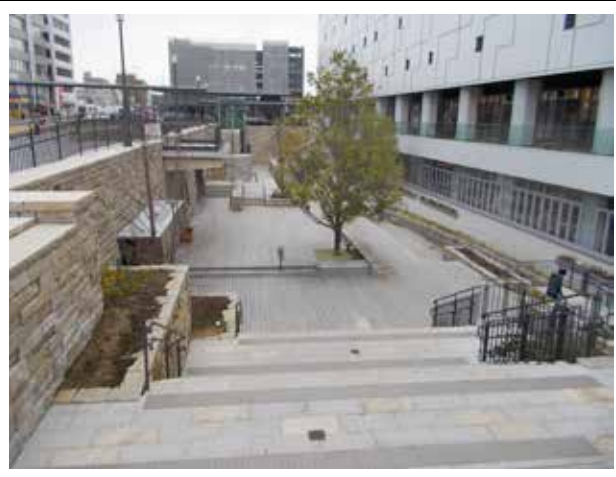
- ・分科会 1：学生がチャレンジしたバスマップ
- ・分科会 2：バスマップ作成に関わる新しい技術の開発と実践例
- ・分科会 3：講演者との質疑応答

私は分科会 2 で、バスマップの活用の事例を報告しました。ミニマップのMMへの活用や、タウンページの掲載、「ちょい旅」への応用などです。

- ・懇親会：いつもとはちょっとおしゃれなおつまみやワインなどがあり、話が弾みました。

2月8日(日)「姫路会場」：姫路駅（夜のうちに姫路まで移動し、林のみ（主催者として松原）が参加）

- ・事例パネル展示：国内・海外のバスマップ（路線図）展示、国内・海外の先進的なバス・乗り物事例紹介、国内外のトランジットモール・まちなかシェアの事例紹介、兵庫県内各地および姫路市での事業ご紹介、災害時に活躍するバスの事例紹介、バスマップサミットご協力団体による展示



会場は姫路駅北口広場のサンクンガーデン（半地下広場）につながる地下通路に設けられ、横で「姫路バスまつり」（神姫バスによる各種グッズ販売、バスの乗り方ツアー）も開かれたため、たくさんの参加者がありました、雨だったらもっと多かったかも。

#### 「マップサミット幹事会」カフェスペース

- ・次回 1 3 回開催：愛媛県（今治あるいは松山）2016 年 4 月予定、1 4 回以降の希望地：神奈川、大分
- ・関連イベントの開催予定：2015 年 8 月（仮称）三陸地区大会、2015 年 9 月広島バスまつり
- ・GPS バスマッププロジェクトの始動(福井も参加): のりのりマップもこのプロジェクトに参加して、今年の「ちょい旅」もスマホでGPSを使って、できるようになるかもしれません。乞うご期待！



## ケントリーくんのあれこれ日記 Part13

最近新聞やテレビでは来月開業する北陸新幹線、また引退する寝台特急トワイライトエクスプレスと北斗星の話題がよく取り上げられています。

トワイライトも北斗星も廃止が発表されてからは寝台券の入手が非常に困難となり、1か月前発売開始日の10時ジャストに売り切れることがほとんどです。私の鉄道ファンの知人は、今月上旬のある日、トワイライトの寝台券を買うために午前4時に駅に着いて1番乗り。駅員は「1番目の申し込みでも取れるかどうかわかりません」と弱気になっていたそうですが「取れると信じて打ってください」と励ましの言葉をかけたところ、願いが通じて寝台券が取れたとの喜びの記事をブログに上げていました。

私自身、トワイライトには、まだ廃止の噂がなかった頃に2回乗ったことがあります。その頃でも1か月前の発売日に申し込んでも第一希望の個室寝台は取れず、キャンセル待ちだった記憶があります。

ところで毎回思うのですが、廃止になる列車を懐かしみ、静かに見送るファン本来の姿とは程遠い残念な行動（駅構内での罵声や暴動）が時折見られます。特に3月12日の最終日は混雑が激しくなるので、安全確保のために大阪駅ホームに通常より多くの警備員を配置すると聞いております。大きなトラブルがなく、鉄道ファンの皆さんが最後を気持ちよく見送れることを願っております。



作/漆寄 耕次

編集後記・・・編集委員より一言

内田（発行責任者）

「1月、2月ぐらいゆっくりしたいところですが日程がびっしりです！」

林（変集長）

「薪ストーブで焼いたピザは最高です・・・春を待つおじさんより」

事務局 特定非営利活動法人

ふくい路面電車とまちづくりの会（ROBA）

910-8031

福井市種池1丁目1905-3

TEL: 0776-25-7968

e-mail: [roba@mbh.nifty.com](mailto:roba@mbh.nifty.com)

URL: <http://roba.cocolog-nifty.com/roba/home/>